

広報 Koko Gallery  
展示室

第39回

— 企画展 —

浮世絵で見る忠臣蔵の世界展



「忠臣蔵十一段目一 夜打押寄」 歌川広重

『仮名手本忠臣蔵』は、『義経千本桜』『菅原伝授手習鑑』と共に歌舞伎の3大名作のひとつといわれています。47士による討入りが物語のクライマックスですが、人形浄瑠璃としての初演は奇しくも赤穂事件から47年目のことでした。

江戸の庶民は歌舞伎『仮名手本忠臣蔵』に夢中になり、赤穂義士たちの眠る泉岳寺には、観光と参拝をかねてたくさんの方が訪れました。風景画の名手として知られた広重も、「忠臣蔵」を題材にした浮世絵を手がけています。ちょっと意外に思う方もいらっしゃるかも知れませんが、庶民に人気のある題材を描くことは、浮世絵師にとっては当たり前のことでした。

図は「忠臣蔵 十一段目一 夜打押寄」。天保(1830~44)中期に制作された16枚揃の揃物「忠臣蔵」のうちの1枚です。寒い雪の夜、闇に紛れて討入りに向かう義士たちの緊張感がこちらにも伝わってきます。このシリーズは広重が描いた忠臣蔵の中でも傑作といわれています。他の忠臣蔵を描く浮世絵ではあまり描かれることのない場面をあえて描いているのが大きな特徴です。

元禄15年(1702)12月、赤穂浪士たちは吉良邸に討入り、亡き主君の仇討ちをしました。現在でも、歌舞伎などの古典芸能はもちろんのこと、「忠臣蔵」もののドラマや映画が数多く作られ、この時

期によく放送されています。江戸の庶民をとりこにし、今なお人々に愛され続ける忠臣蔵の世界。この冬は広重美術館で忠義を貫いた男たちの熱いドラマを味わって下さい。

那珂川町馬頭広重美術館 学芸員 河野結美

- 【会 期】 ~平成21年1月12日(月祝)  
 【開館時間】 午前9時30分~午後5時まで  
 (ただし、入館は4時30分まで)  
 【休 館 日】 12月1日、8日、15日、22日、24日、  
 27日から平成21年1月2日、5日

馬頭広重美術館が放映されます

日時 12月27日(土) 午後11時~11時30分  
 チャンネル NHK教育テレビ ミューズの  
 微笑み「ときめき美術館」

※毎月第3日曜日は「家庭の日」です。お子様(中学生以下)連れのご家族は、観覧料が無料になります。

写友那珂川  
第2回写真展

11月18日~24日まで馬頭広重美術館視聴覚研修室ギャラリーで開催された写友那珂川第2回写真展で展示された那珂川町の写真2枚をご紹介します。

「家路」 石井晋一さん(高尾)



ミニ  
ギャラリー



「清流那珂川の朝」 杉本 静(片平)